



## 国鉄第3次計画

にご理解とご協力を

大館—白沢間

今年中に複線化

国鉄では、昭和40年度から46年までの7年間を第3次長期計画と定め、複線化、電化による幹線輸送力の増強、安全の確保、通勤輸送対策などを柱に、いま全国的に諸工事が進められているこの長期計画のあらましをご紹介します

事故をなくすためには、まず、保安対策として2,044億円を投じ、列車自動停止装置を41年春まで国鉄全線2万キロに完備する予定で。

このほか、列車無線の整備、信号機の自動化などを進める計画です。

さらに、踏切改良をおこない、自動車交通量が多い踏切約700カ所を立体交差にするとともに、警報機、しゃ断機などのない「はだか踏切」を一掃する計画です。

列車を増発するために、1兆2,500億円を投じて線路をどんどんふやす計画です。

計画最終年までには東北、上信越など全国で14の幹線が全線複線になり、奥羽本線など13線が部分的に複線になります。

大館駅管内においても、大館、白沢間の複線工事が今年からはじまり、昭和43年には完成する予定になっています。

また、44年までには大館、下川沿間45年までには、下川沿、早口間がそれぞれ複線化されることになっており、これが完成すると、大館駅からの貨物輸送

力は3倍になり、黒鉱がすでに生産段階に入った現在、鉦石の輸送面を考えると大館周辺の経済に大きな成長をもたらすこととなります。

さらに、旅客列車が大巾に新設され、大館駅の場合、特急が7本、急行が6本、準急が3本にふえ、通勤、通学、旅行などの輸送面でもこの国鉄第3次長期計画は画期的な計画といえます。

快適な旅をつくるためには、6,600億円を投じ、性能のいいスマートな客車をつくることにしており、旅行中に、ワイシャツのえりや顔が石炭でよごれないように無煙化を大いに推進します。

電化は東北本線など18線で実施し、この長期計画で電化されなかった線においては、ほとんどディーゼル化されることになっています。

運賃値上げの理由、以上、国鉄の第3次長期計画のあらましをお伝えしてきましたが、皆さんも承知のとおり、国鉄ではいま25%の運賃を値上げしようとしています。

何故、国鉄がこのような値上げにふみきらなければならないか。その理由につ

いて若干ふれてみます。

国鉄がみなさんの「足」としての使命を果たすには、第3次長期計画が終る46年までに約3兆円の資金が必要です。

一方、国鉄の財政状態をみますと、40年度には1,000億円におよぶ赤字を出す有様で、到底年平均4,300億円の投資を要する長期計画の資金はつくれません。しかも、日本一の借金王の名のとおり1兆円近い借金をかかえ、元利の返済だけでも毎日3億円にのぼっています。

国鉄がこのような状態に追いこまれたのは、運賃が戦後のインフレ時代から今日まで、常に他の物価よりも低く押えられてきたためです。一般の物価は戦前にくらべて2400倍近くになっていますが、国鉄の運賃は161倍と半分以下に押えられています。

このような事情から、国鉄では、みなさんの「足」を確保する長期計画の資金を得るため、現在不均衡になっている国鉄の運賃を是正してくださるようお願いしているわけです。

(国鉄 大館駅提供)

## FM放送をどうぞ

大館の周波数 84.9メガサイクル

NHKが申請していた大館のFM放送局が認可され、昨年12月27日から放送をはじめました。

FM放送は、テレビの電波と同じ超短波放送でこの電波の特徴としては、音質の良さ、雑音皆無という長所をもっているため、おもに、音楽を中心にニュース、教養番組などを放送し、番組によってはステレオ放送をたのしむことができるので音楽ファンは、大変好評を得ている放送です。

このFM放送を聞くには、FM受信機かラジオ受信、FMチューナとステレオアダプターの附属品をとりつけなければ受信できないことになっておりますので、くわしいことは最寄りのラジオ店にご相談くださってすばらしい音質での音楽をおたのしみくださるようおすすめいたします。

## 新しい民生委員が

きました

新しい民生委員116名が昨年12月1日、市の推せんによって厚生大臣から正式に委嘱されました。

各地区の委員数をみますと、旧大館地区、45人、釈迦内地区14人、長木地区14人、上川沿地区7人、下川沿地区7人、真中地区8人、二井田地区7人、十二所地区14人の合計116人で、このうち女性の委員が27人含まれております。

委員の方々は、これから向う3年間、社会福祉の増進をはかるため、一般家庭の生活指導をおこなったり、保護を必要とする方々を適切に指導したりして、明るい社会をめざして努力していただくことになっております。市民の方々も生活上のことでいろいろと問題が生じたときはこの委員の方々にお気軽にご相談くださるようお願いいたします。(まことに失礼ですが紙面の関係上委員ご氏名は省略させていただきます)